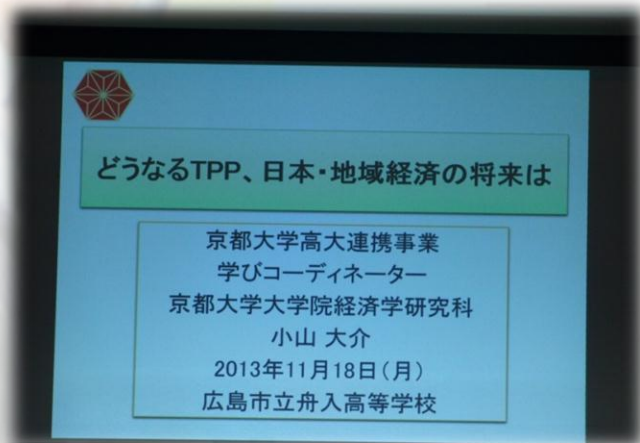


京都大学出張講義

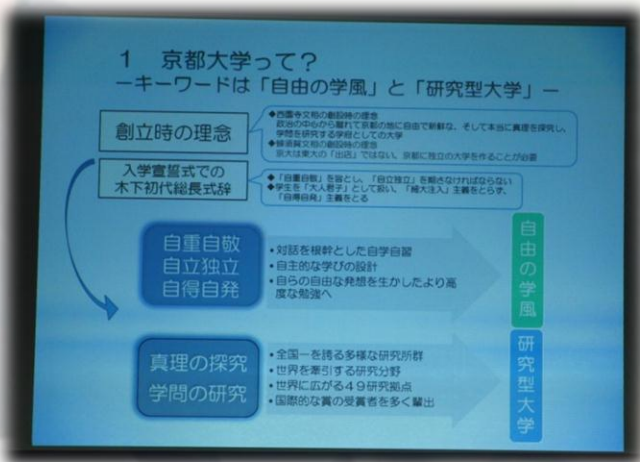
11月18日(月)、京都大学大学院経済学研究科より、小山大介先生をお招きし『どうなるTPP、日本・地域経済の将来は』というテーマで、出張講義を行っていただきました。

また、京都大学学務部入試企画課より、荻野隆司先生をお招きし、京都大学の説明も同時にしていただきました。

〈小山大介先生〉



〈荻野隆司先生〉



以下生徒の感想を紹介します。

「私は経済学部に興味があるのですが、“経済学”というものに具体的なイメージがわいていませんでした。今回 TPP のお話を通して経済学とは何かがよくわかりました。TPP に日本が参加することのメリット・デメリットを“客観的”に見ることは難しいのだと思いました。」

「マスメディアが取り上げているのは TPP の問題の一部に過ぎないことに驚きました。」

「京都大学で学ぶことの良さを知ることができました。就職した自分を想像し、勉強をしようと感じました。」

生徒は小山先生から TPP に関する専門的なお話を聞くことで、「経済」というものを改めて意識し、荻野先生による京都大学の説明を聞くことで今後の学習意欲を向上させたものと思います。

小山先生、荻野先生、ご多用の中お越しいただきありがとうございました。

